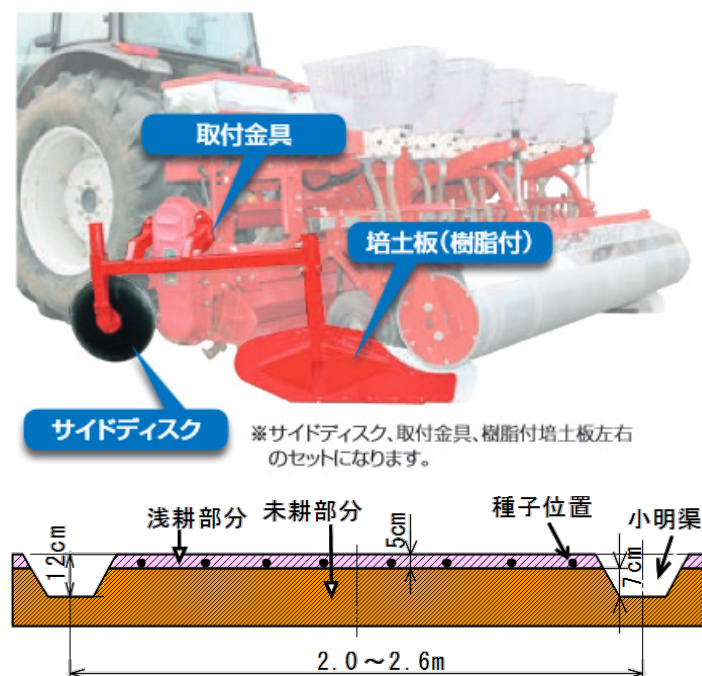


2. 作物(水稲、麦類、大豆、果樹等)技術情報

湿害による出芽不良を解消する 作溝・畦成形ユニット

1. 平成 28 年熊本地震により、一部の被災農地では作目の変更が想定されます。本資料では、水田における小麦・大豆などの転作栽培時に、暗渠未施工など排水性の劣る水田で湿害を解消する作溝・畦成形ユニットを紹介します。
2. 本ユニット（ニプロ、NSDB-TBA・TBM・LXR10、NSDC-SRA、約 30 万円、<http://www.niplo.co.jp/common/images/friends/25.pdf>）を、ロータリシーダに後付することで、簡単に排水のための小さな明渠（排水溝）を掘りながら播種できる作業機ができます。一体化した作業機は小明渠浅耕播種機と呼ばれています。
3. この播種機は、作業速度 1.0m/s で稲・麦・大豆の播種が可能です。2008 年に、この播種機で作付した三重県の現地圃場において、小麦では 391kg/10a、大豆では 227kg/10a の収量が得られました。



参考文献

1) 農研機構研究成果情報（中央農研、2012）

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2012/111b3_01_03.html

問い合わせ先：農研機構 中央農業研究センター 029-838-8421